

## 《研究課題名》

限局性・転移性精巣腫瘍に対する手術加療、術後補助療法及び薬物療法の有効性・安全性の検討

## 《研究対象者》

滋賀医科大学医学部附属病院泌尿器科において、2007年1月1日から2026年3月31日までの間に、限局性・転移性精巣腫瘍に対して精巣部分切除、高位精巣摘除術、後腹膜リンパ節郭清を施行した患者。

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （1）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2029年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 泌尿器科学講座 和田晃典

### （2）研究の意義、目的について

#### 《意義》

精巣腫瘍は、20歳代から40歳代の若い男性に見られる病気です。この病気は、手術や抗がん剤治療が非常によく効くため、進行した状態で見つかっても、多くの方が完治できるようになってきました。しかし、治療が効く一方で、術後の再発予防目的の治療の必要性や有効性、抗癌剤治療による副作用、治療の後に残った腫瘍を外科手術で取り除く必要性やタイミングなどを知ることは安全に治療を進めるうえで、極めて重要な情報となります。精巣腫瘍の治療選択に非常に重要な知見が得られ、治療選択の一助となると考えます。

#### 《目的》

転移の有無を問わず精巣腫瘍に対して行われた手術加療、術後補助療法・全身薬物療法について、それぞれの治療成績・安全性の比較・評価を行います。

### （3）研究の方法について

#### 《研究の内容》

本研究は滋賀医科大学医学部附属病院で精巣腫瘍に対して手術・術後補助療法・全身薬物療法を行った方を対象に、その術前の状態や治療別の成績、手術や薬物療法の結果などを評価します。

#### 《利用し、又は提供する情報の項目》

診療録をもとに年齢・身長・体重・Performance Status (ECOG分類)・BMI・併存疾患・治療日・治療

方法・治療期間・治療時の成績・治療時の所見・病理所見・臨床データ（採血検査、画像検査、画像所見）・clinical stage・合併症・pathological stage・追加の治療・治療薬の種類・治療時期・予後情報等を利用します。

#### 《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 遠山 育夫

#### （４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

#### （５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

#### （６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

#### （７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

#### （８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 泌尿器科学講座 和田 晃典

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2273

メールアドレス：hquro@belle.shiga-med.ac.jp